

## 第53回 東京都野菜・花き種苗改善審査会 「ダイアンサスの部」

平成23年9月29日（木）、東京都農林総合研究センターを会場にして、東京都種苗研究会主催「第53回野菜・花き種苗改善審査会ダイアンサスの部」が開催されました。

審査は、種苗会会員ら21名が参加し、農総研研究員、都農業振興事務所職員、農業改良普及員、JA職員、種苗会会員ら12名で行った。

1 出品点数 19点

2 栽培概要

(1) 播 種 平成23年7月27日に、市販播種用土（商品名：TM2）を充填した288穴セルトレイへ、真空播種機（バンダナ社製）を用い、1穴1粒で機械播きした。



(2) 発芽管理 栽培全期間ガラス室内で管理した。各品種とも発芽は順調だった

(3) 定 植 8月16日（播種20日後）、本葉2～4枚展開時に3.5号黒ポリポットへ1本定植した。定植用土は、赤土：腐葉土：ピートモス＝5：3：2（体積比）の混合用土。基肥は用土100ℓ当たり、被覆複合肥料14-12-14（エコロング424-100タイプ）＝300g、化成肥料6-40-6（マグアンプK中粒）＝200g、過リン酸石灰0-17-0＝250g（用土100ℓ当たり成分でN＝54g、P<sub>2</sub>O<sub>5</sub>＝158g、K<sub>2</sub>O＝54g）をあらかじめ施用した。

9月4日（播種39日後）までガラス室で管理し、やや徒長傾向となったため、9月5日以降は露地栽培とした。しかしながら、台風15号の影響が心配されたため、9月19日に再びガラス室へ移動するとともに、審査会用配置（4列×6鉢／区 2区制）に整列した。

(4) 灌水方法 播種5日後までは底面給水で、発芽後はハス口による上部灌水とした。

(5) 追 肥 9月9日にIB化成（10-10-10）3粒を追肥した。また、9月21日にハイポネックス（20-20-20）1000倍を各100ml施用した。

(6) 病虫害防除 東京都病虫害防除指針に従って実施した。

3 栽培期間中の天候・生育概要

(1) 天候概要

8月上旬のはじめは気温が低く推移したものの、その後中旬にかけて平年値より高めに推移した。中旬は日照時間や降水量も多かった。8月下旬は曇りや雨の日が多く、平均気温は低めに、日照時間は少なく、降水量は多かった。一方、9月上中旬にかけても曇天続きであったが、平年値より気温は高く、日照時間もやや多めであった。しかし、台風15号通過後は平均値より気温が低く推移した。

## (2) 生育の概要

供試全品種とも発芽・育苗期間中の生育は順調だったが、ハウス内環境の影響で徒長気味であったため、9月上旬から露地栽培へ切り替えるとともに、鉢広げにより株間を確保した。

開花は早い品種で9月6日から始まった。開花の早晩性は品種により違いが現れ、開花が早い品種と遅い品種で開花開始日に最大2週間の開きがあった(9月28日までの開花株率は審査終了後に配布)。したがって、開花の遅い一部の品種では、審査日においても開花株率は100%に達していなかった。

## 4 審査結果 入賞をはたしたのは、以下の品種である。

等級	品 種 名	出 品 社
I	アイディアル セレクト バイオレット	(株) ミヨシ
II	アイディアル セレクト ホワイトファイヤー	(株) ミヨシ
II	ベルフィーブルーン	(有) 野崎種苗園
III	アイディアル セレクト レッド	(株) ミヨシ
III	アイディアル セレクト ラズベリー	(株) ミヨシ
III	ダイアブンタ パープルピコティー	シンジェンタジャパン (株)



I等 アイディアル セレクト バイオレット



II等  
アイディアル セレクト ホワイトファイヤー



II等  
ベルフィーブルーン